



峰山市民局

全国酒類コンクール純米吟醸部門第1位の「天酒大明神」を抱える「あまさか倶楽部」代表山本武彦さん(H30.12.21撮影)



「天酒大明神」(峰山町丹波) 丹波地区の氏神、「多久神社(たくしんじや)」の祭神として祀られている「天酒大明神(あまさかだいまよしん)」は、羽衣天女の化身といわれており、丹波の地に舞い降りて酒を造り、その酒は万病に効くと言いつたに聞かれています。そのような由来から、多久神社は、昔から「あまさかさん」と呼ばれ、地域で親しまれています。

この地域では、明治時代までは酒造りが行われていたことから、近年、地元有志18人が「丹波の郷 あまさか倶楽部」を結成。地元のお米で純米吟醸酒『天酒大明神』を醸造し、酒造りを復活させ、地域活性化に繋がっていきたくと頑張っています。

美味しいお酒を味わうために、楽しみながら皆で汗を流し、米作りから酒の仕込みまで取り組んだ結果、今年もフルーティーな味わいの新酒が出来上がりました。地元商店などで販売しています。みなさんも一度味わってみてはいかがでしょうか？

天女が造った伝説のお酒 どんな味わい？

『天酒大明神』(峰山町丹波)



HP

M... 峰山さんぽ

手作りの紅白餅です



峰山小学校付近の第一区にある金峰神社(かなみねじんじや)は、昭和五年に権現山の山頂から遷座した神社です。

この神社の元旦祭は、例年行っている恒例のイベントで、第一区の住民を中心に地元有志が集い、大晦日に杵で餅をつき紅白の餅をつくり、元日深夜の参拝者に振る舞いをしています。また、大判焼きや甘酒の振る舞いもあります。杵と臼でついた餅は大変おいしいと好評です。

振る舞いは元日午前0時から約一時間で終了しますが、新年を祝う気持ちで元日深夜に足を延ばしてみられてはいかがでしょうか？



元日のカウントダウン後、たくさんの方で賑わいます！

『元日は 新たな気持ちで 初詣』



年末年始の行事の一つに初詣があります。皆さんは普段どこに初詣に行かれていますでしょうか。今回は、峰山町内で年越しから元日にかけて実施している初詣のイベントを一つ紹介します。

金峰神社の元旦祭(峰山町吉原)



MAP

峰山市民局長 一年を振り返って

今年も残すところあと一週間。やり残すことなく、新たな年を迎えたいものです。

さて、峰山町内の地域づくりについて、今年一年を振り返ってみますと、イベントでは、「フエスタ飛天」や「こまねこまつり」「こまねこシャッターアート」が地域の人達のいろいろな繋がりで開催され、地域に賑わいや面白みが一層広がりました。

また、今年には各地域で新たな動きが生まれました。山陰近畿自動車道整備を機とし、地域の景観美化や芸術振興等の活動をスタートした「荒山未来塾」。月の輪田などの資源を生かし、地域おこし協力隊と地元有志が、食の観点などから地域づくりに取組み始めた「五箇プロジェクト」。少子高齢化に伴い自治運営の課題が年々深刻化する中、持続可能な地域づくりに向け、7つの区の連携・相互扶助の検討を行い始めた「峰山南地区」。

こうした動きについて、来年も多くの人に共感してもらい、峰山町内でさらに広まっていくことを期待していますし、引き続き地域の皆さんへの敬意を持って、一緒に考え、楽しんでいきたいと思っています。

峰山町の人口

単位:人

	H30.11末	前月比	H30.10末
0歳～14歳	1,486	-3	1,489
15歳～64歳	6,803	-16	6,819
65歳～	3,942	-12	3,954
合計	12,231	-31	12,262